

Chromebook の起動のしかた

スリープ解除・電源オン

① フタを開けると自動的に電源が入ります。



② フタが開いている場合は、本体の右側側面の電源ボタンを押します。



Chromebook の特徴の 1 つとして、起動の早さがあります。

Google 社は「8 秒以内の起動」とうたっています。電源オフの状態から 8 秒で起動しますので、スリープモードからの復帰はほぼ即時と言ってよいです。授業中、先生の話に集中させたい時などは画面を閉じさせることで Chromebook から注意を向けさせることも可能です。

なお、Chromebook に限った話ではありませんが、フタを閉じる時にキーボードの上にペンなどがあると液晶が割れるなどの故障の原因となります。フタを閉じる時には児童・生徒のみなさんに注意を促すようにしてください。



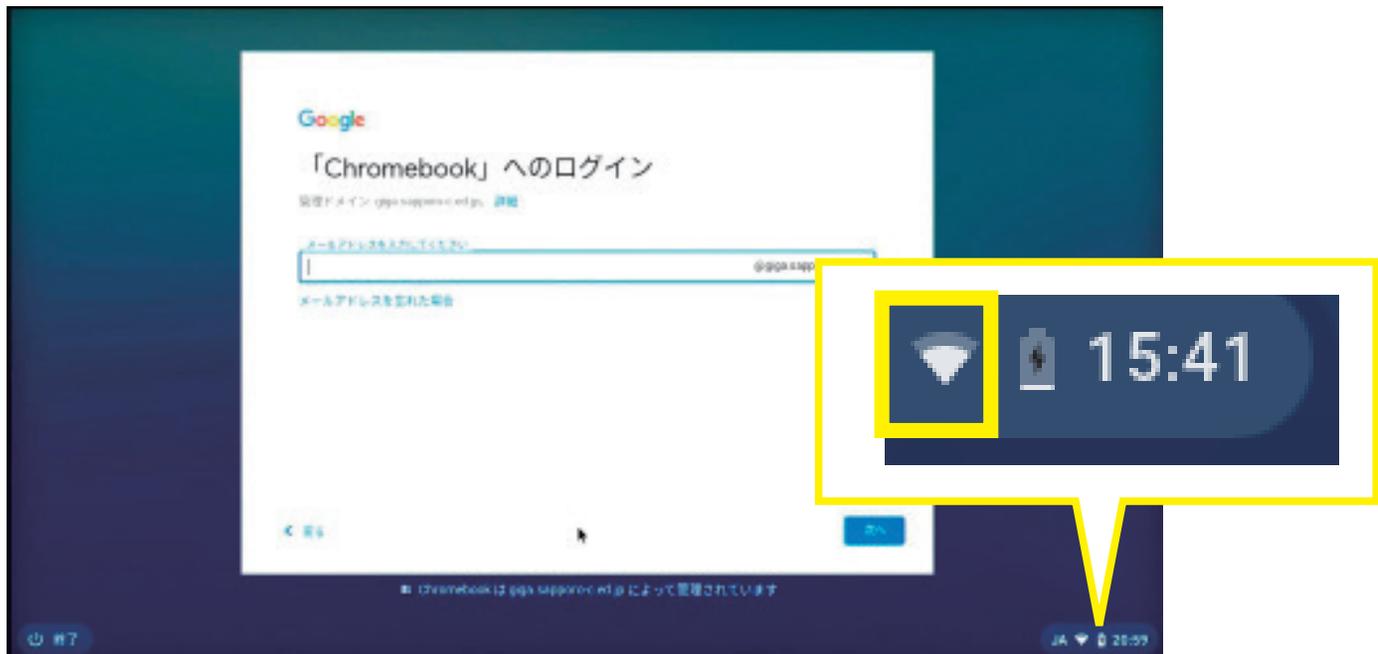
再起動しても再起動前に開いていた Chrome ブラウザのタブなどはそのまま、作業を継続できます。作業中の G Suite のドキュメントは自動的にクラウド上に保存されるようになっており、その画面も開いたままになります。

Chromebook の起動のしかた

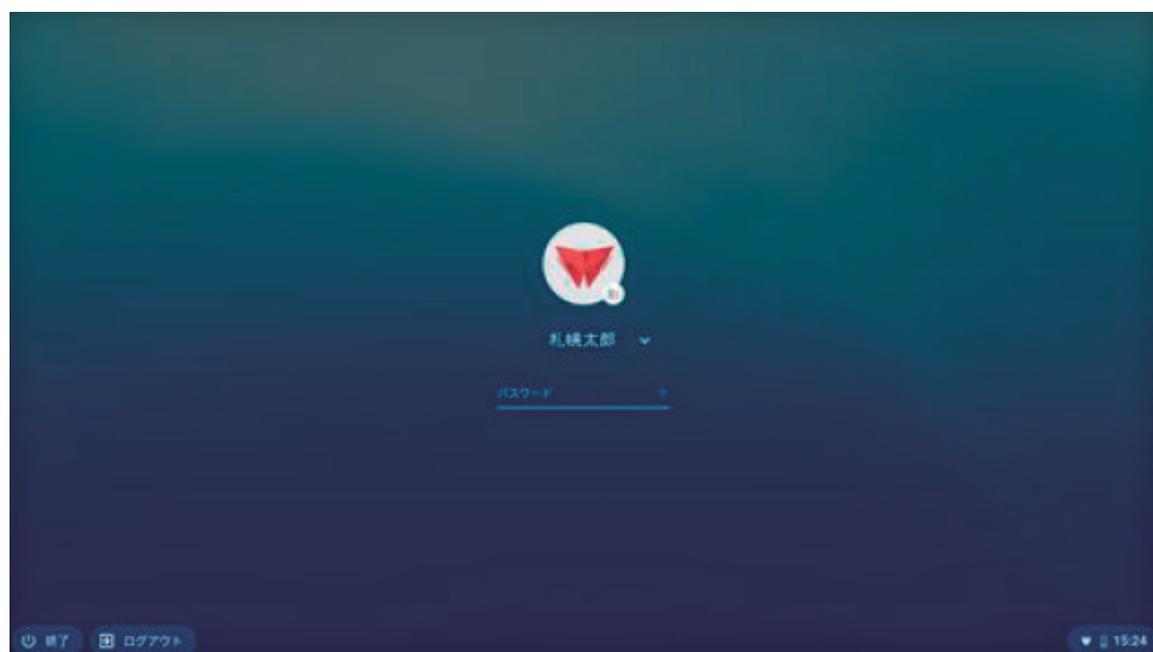
ネットワークの確認

前述の通り、Chromebook はネットワークに接続していない状態ではほとんどの機能が使えません。電源を入れたら、ネットワーク状況を確認しましょう。

- ① 電源が入ったら上のような画面が表示されますので、右下の Wi-Fi の電波のマークを見てネットワークに接続しているか確認しましょう。



- ② その端末で 2 回目以降のログインの時は下のように画面が変わります。



Chromebook にログインしてみよう

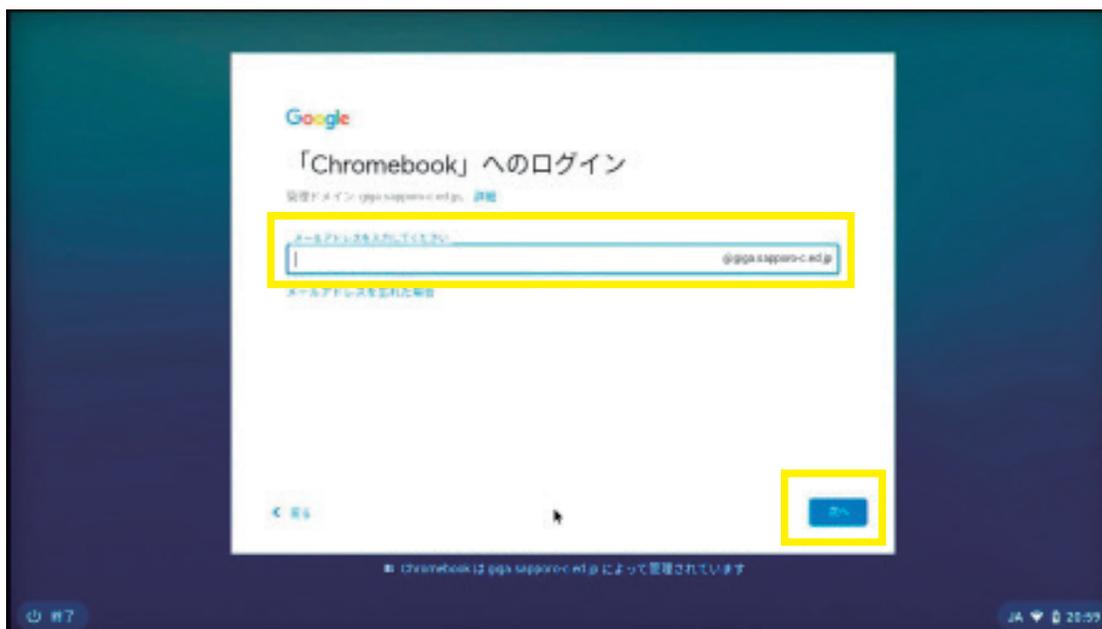
ネットワークに接続していることを確認したら、Chromebook にログインしてみましょう。

ID の入力

① 「メールアドレスを入力してください」の枠内に札幌市教育委員会から割り振られた ID を入力して「次へ」をクリック（タップ）してください。

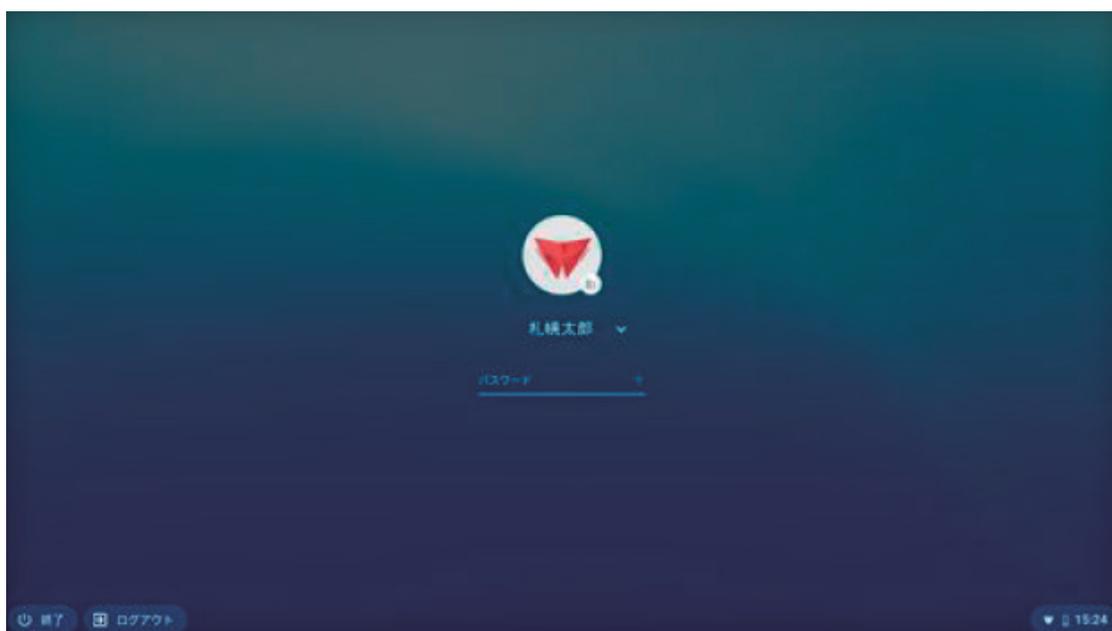
※ 不明な場合は学校ごとの担当者にお問い合わせください。

アカウントは xxxxxxxx@giga.sapporo-c.ed.jp の形式ですが、@マークの左側だけの入力で結構です。



② 一度その Chromebook にログインすると、2 回目以降は下のような画面に変わってメールアドレスの入力が必要なくなります。

パスワードだけを入力して Enter キーを押してください。



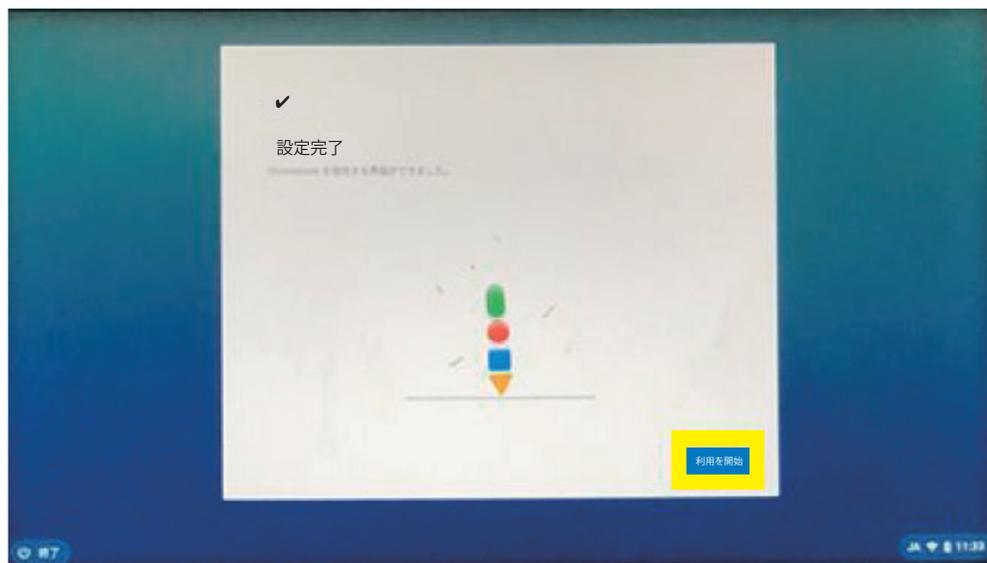
Chromebook にログインしてみよう

パスワードの入力

- ① 「パスワードを入力してください」の枠内に ID と一緒に通知されたパスワードを入力して「次へ」ボタンをクリック（タップ）してください。

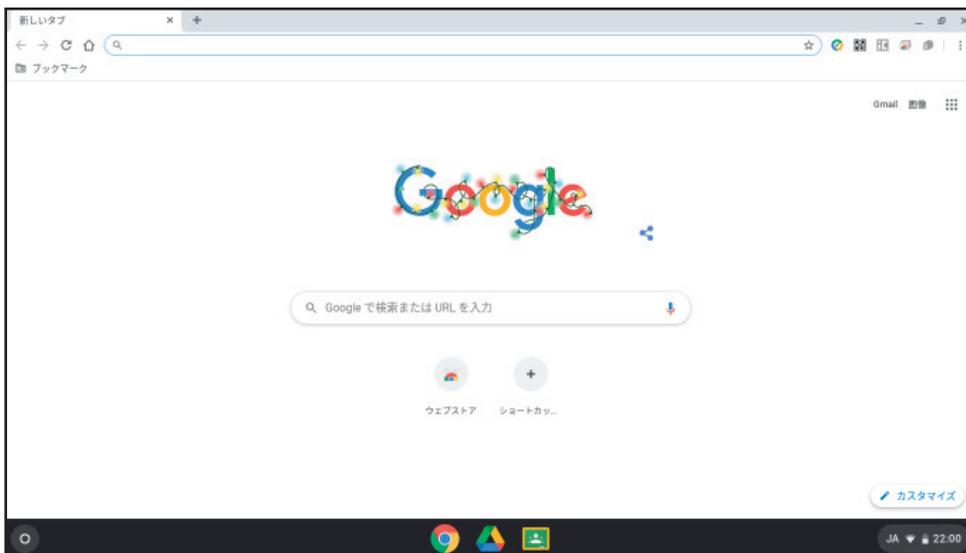


- ② 下の画面が表示されますので、右下の「利用を開始」をクリック（タップ）して進んでください。

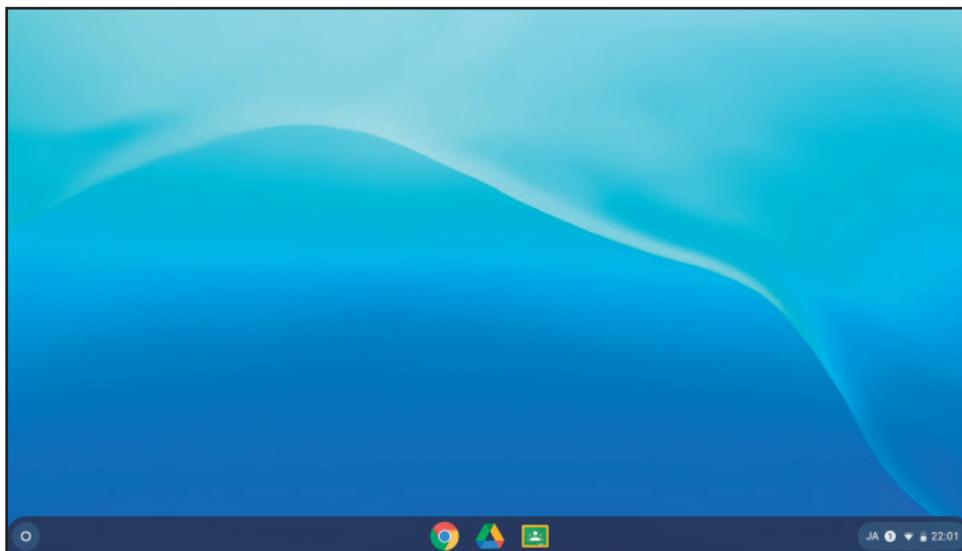


Chromebook にログインしてみよう

③ Google のページが表示されたら準備完了です。



④ ブラウザを閉じるとデスクトップが表示されます。



個人用 Google アカウントではログインできません

一般的に家電店等で売っている Chromebook は個人用の Google アカウントでログインして使用することが出来ますが、学校に配備されている Chromebook は札幌市教育委員会が契約している Education Upgrade というライセンスに紐づけられており、個人用の Google アカウントではログインできないように設定されています。



配布された Google アカウントで他のデバイスでも使えます。

Windows の Chrome ブラウザでログインして G Suite などを使うことも出来ます。また、先生用だけでなく児童・生徒用など、どの Chromebook にもご自分の Google アカウントでログインすれば、ご自分の環境で作業が継続できます。

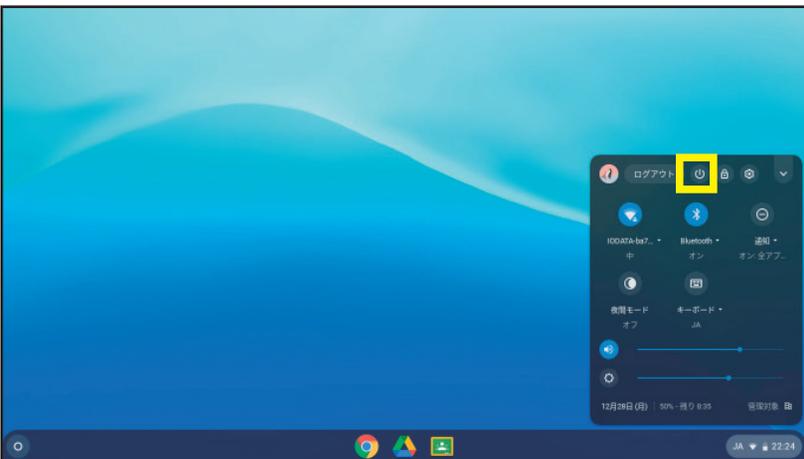
Chromebook の電源オフとスリープ

電源 OFF のしかた

① 右下の「JA 📶 🔋 21:57」の位置にカーソルを合わせクリックします。



② 「🔌」マークをクリックすると、電源が OFF になります。



スリープのしかた

フタを閉じるとスリープに切り替わります。

